

小・中学校の体育館がレストランに！ 「学校教育食体験事業」を初開催

教育委員会では、郷土愛の醸成と文化度を高めるための取組みとして今年度、初めて「学校教育食体験事業」に取り組みました。

奈義町には、黒ぼこで育った美味しい野菜や、気候風土に左右されない安定した畜産とその加工品など、豊かな特産物があります。今回は、その優れた食材を知り、その良さを引き出すための調理等を学び、さらに、周りの人々と楽しく、美味しく食事をとるためのテーブルマナーも学習するというものです。

見本をよく見て…カトラリーの配置 ▶

12月4日、小学校体育館に6年生が集まりました。1組、2組それぞれが「もてなす側」、「もてなされる側」に分かれて、まずはマナーを講習。「カトラリー（フォークやスプーンなど）の置き方」「食事を出すときの体の入れ方」等を教わった後、いよいよ実践スタート。初めは、お互いに緊張した面持ちでしたが、ナイフとフォークを器用に使いながら食事をとることができました。

児童たちは、この事業に併せて「蝶ネクタイ」と「ギャルソンエプロン」を作成。空のグラスやお皿を見つけると「お下げいたします」などと率先して給仕をこなす姿が見られ、真剣な表情で取り組んでいました。

▲ (上)「料理をお出しする際には…」とプロから指導を受けました
(下) 右手にナイフ、左手にフォークでの食事に挑戦

「失礼致します」と先生に ▲

12月9日には、中学3年生を対象に「食体験事業」を実施。生徒たちは、クロスとカトラリーを配置し、ナプキンの扱い方、席を外すときのマナーなどを教わりました。また、数人の生徒たちは、エプロンをつけて給仕を担当。仕上げの盛り付けをしたり、クラスメイトの席まで料理を届けたり、緊張しながらもテキパキと役割をこなしていました。

そして、料理をいただきながら、今回の食材を提供してくださった方々からのお話を伺いました。なぎビーフ銘柄推進協議会の國富

さんから、地域で連携しながら肉牛の育成をしていること、野菜農家の岸本さんからは、町内の畜産堆肥による土づくりや出荷先などについてご説明をいただき、安全や安心にも気を配りながら、質の高い食材を生産されていることを学ぶことができました。

▲ 野菜の生産や出荷について
解説してくださった岸本さん

(上) クラスメイトの給仕を担当 ▲
(下) 料理の仕上げも美しく…

里芋、白ネギは主に前菜に
なぎビーフはメインに変身 ▼▶

奈義町で生まれる食材は、家庭の味として普段からも親しむことができますが、同じ食材でも、仕込みに時間を掛けたり、仕上げを工夫することで、見た目にも美しかったり、うまみが引き出されたり、普段と違う味わいになったりします。

肉は部位によって脂の付き方が違ったり、料理の方法でコッテリさせたり、あっさりさせたりもできます。白ネギや里芋も、熱の入れ方で、歯触りや風味を残したり、甘みや粘りを出したりなどの調理法があります。今回、なぎビーフの内もも肉は“ローストビーフ”に、里芋は“トマトソース煮込み”、白ネギは“ポタージュスープ”や“魚介との洋風南蛮漬け”に調理していただきました。

本事業で、町特産食材の優秀さに気づいたり、食に対して感謝の気持ちを深めたり、奈義町のことを好きな気持ちが更に強くなっていることを願っています。

奈義の食材を活かしてくださった
ヒトゴハンの沼本さん ▼



▲ 先生方も大奮闘！



▲ 肉牛の育成について、伍協牧場の
國富さんからお話をいただきました



今回使用した「なぎビーフ」「里芋」「白ネギ」については、子どもたちの学びのために、なぎビーフ銘柄推進協議会 様、高円宮農組合 様、岸本勝己 様（滝本）から、それぞれ無償でご提供をいただきました。

また、調理やマナー指導は、ヒトゴハン(株)にご担当いただきました。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。



NAGITOWN.KYUUIKU

👉 みなさんの「いいね」で知り合いにも広めていってくださいね!! 👉 「奈義町教育委員会」更新中！

● 問い合わせ先 奈義町教育委員会 学事課（文化センター内）

Tel : 0868-36-4195 / E-mail : kyouiku@town.nagi.lg.jp



中学校芸術鑑賞会に“歌舞鼓音座”が出演！

～奈義町教育委員会SNSより～

恒例の中学校芸術鑑賞会。今年は地元の和太鼓集団「歌舞鼓音座」です。今年、結成30年を迎え、座員約30名で週2回の練習を重ねています。平成14年からは「こども太鼓教室」で小学生の指導も行っています。

昨年からのコロナ禍のため、出演がなく、約2年ぶりのステージ演奏です。当日は座員9名と、中学生の座員4名も参加しての演奏でしたが、体育館内の空気を震わす大迫力の轟音はとても心地よいものでした。小林座長から「太鼓は、たたくと簡単に音の出る楽器ですが、良い音を出すのはとても難しい」など、太鼓や笛、鐘についての解説もありました。また、体験の時間では20人以上の希望者が舞台上上がり、太鼓の音を体感することもできました。「奈義町にこんな太鼓グループがあったのを初めて知りました」という生徒もあり、楽しい時間となりました。

